

内視鏡(CCD)による目視検査



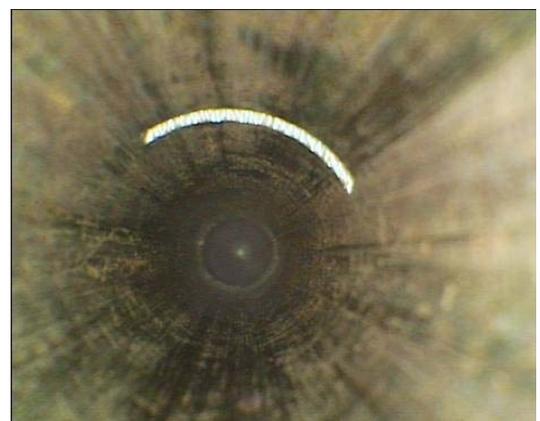
従来、熱交換器チューブや装置、部品の狭隘部の目視検査にファイバースコープを使用していましたが、CCDカメラを搭載した超小型工業用内視鏡(ビデオスコープ)の使用により、像質が飛躍的に向上し、小さなきずや腐食などの欠陥を鮮明に観察できるようになりました。また、観察結果はビデオによる保存が可能で、何度でも繰り返し観察でき、高度な診断が行えます。

特長

- 軽量、コンパクトで機動性がよい(約 1 kg)
- 画像が鮮明
- 先端アダプターにより側視観察可能
- 外径: $\phi 6.9$ mm、有効長: 5.0 m、アングル: 全方向



装置内スケール堆積状況確認例



チューブ内状況確認例